



## プールが始まりました



今年もプール学習が始まりました。まだちょっと水が冷たい日もありますが、1年ぶりのプールを楽しむことができます。事故の防止と体力向上のために、しっかりと知識と技術を身につけてほしいと考えています。

## 『救急救命』訓練

7月10日（火）に、二学部 中学部・高等部の生徒を対象に「救急救命」の訓練を行いました。これからは、個人に応じた災害に対して対応できる力を身に付けていくことが求められています。様々な学習や訓練を通して生き抜く力を身に付けていってほしいものです。



## 「うめ」「もも」を使って！

和歌山県の農林水産部果樹園芸課から県産の果実をいただきました。うめを使った「梅スコーン」。ももを使った「桃プリン」を作ってみました。なかなかの良いできばえて、松下校長にも食べていただきましたが、大変好評でした。

ほんものの味、ほんものの香りといったスローフードの素晴らしさと、自分たちの体を作っていく「食」の大切さを、こういった機会の中で自然と学んでいってほしいと考えています。



# 第2回『学校運営協議会』

平成30年度 第2回【7月10日（火）】 13:30～15:00

出席者：委員6名、学部主事2名、教頭

## 議題

①本校の現状についての説明

②授業参観

③意見交換

④次回の予定

## 議論した主な内容

①本校の現状についての説明

学部概要説明 ～児童生徒数・実態・実践内容・研修・課題等～

一学部（小・中・高等部）国立病院機構和歌山病院入院児童生徒

二学部（小・中・高等部）通学児童生徒

②授業参観

・一学部 ベッドサイド授業+療育指導室

・二学部 教科授業

③意見交換

- ・和歌山病院の入院患者の実態として、近年は重度化している。
- ・病院としての「治療」と「介護」、「療育」の感覚に変化を感じるが、親としては「生活の場」としての入院生活を大切にしたい。
- ・以前は、「一学部児童生徒」が学校行事等で校外（病院外）に出る機会も合ったが（つなサマ・海水浴など）が、実態の重症化に伴い外出等が困難になっている。
- ・通学生の「二学部児童生徒」が在籍しているというのは、地域、各学校などに周知されているように思われるが、和歌山病院に入院している「一学部児童生徒」が、在籍しているということは、知られていないように思われる。
- ・「センター的機能」としての相談、支援は地域に拡大浸透しているが、教育内容と実践について「知ってもらう機会」があるといいのでは。

## 今後の予定について

・第3回の予定

12月19日（水）13:30～15:00

みはま支援学校（教育実践など）の広報について。